

みんなの財政のミカタ

令和元年度
決算版

仙台市の財政を分かりやすく説明します



写真提供：SENDAI 光のページェント実行委員会

令和2年12月
仙台市

Part1.決算解説編では、仙台市の令和元年度決算についてお知らせします。
決算は、1年間の市の収入や支出をまとめたものです。

目次

1. 令和元年度決算額	1
仙台市全体の決算額は？「3つのお財布」ってなに？	
2. 歳入	2
仙台市の1年間の収入はどうなっているの？	
3. 歳出	3
支出の「2つの見方」ってどういうこと？	
4. 震災復興への取り組み	5
震災復興にはどれくらいのお金が使われているの？	
5. 仙台市の財政状況	6
仙台市の財政状況ってどうなの？	
6. 財政見通しと行財政改革	9
これからの仙台市財政はどうなるの？	
7. コラム：令和元年度決算を家計に例えると？	10

Part2. 資料編

1. 令和元年度特別会計・企業会計決算の状況	
(1) 収支の状況	12
(2) 令和元年度に行った主な事業	13
2. 令和2年度上半期の財政状況（令和2年9月30日現在）	
(1) 予算の執行状況（一般会計・特別会計・企業会計）	18
(2) 市債、市有財産、基金などの状況	20

1. 令和元年度決算額

仙台市全体の決算額は？「3つの財布」ってなに？

令和元年度の1年間に、仙台市全体でどれほどのお金が使われたのか見てみましょう。

	令和元年度 歳出（支出）決算額
総額	1兆601億251万円
一般会計	5,240億2,225万円
特別会計	3,138億2,668万円
企業会計	2,222億5,358万円

「会計」とは、家庭における「お財布」にあたるものです。

収入をどの事業に使っているのかを分かりやすくするために、お財布（会計）を一般会計・特別会計・企業会計の3つに分けています。

それぞれの会計の特徴は？

一般会計

福祉や教育、道路整備など、市の基本的な事業を行う会計です。収入は市税や地方交付税等によってまかなわれます。

特別会計

特定の事業を特定の収入によって実施するための会計です。保険料など特定の収入があるため、一般会計とは区別する必要があります。仙台市には、国民健康保険事業や介護保険事業など、10会計があります。

企業会計

地方公共団体が直接経営する、地方公営企業の会計です。それぞれ利用者の方々が支払う料金等の収入で事業を行います。仙台市には、下水道・地下鉄・バス・水道・ガス・病院の6会計があります。

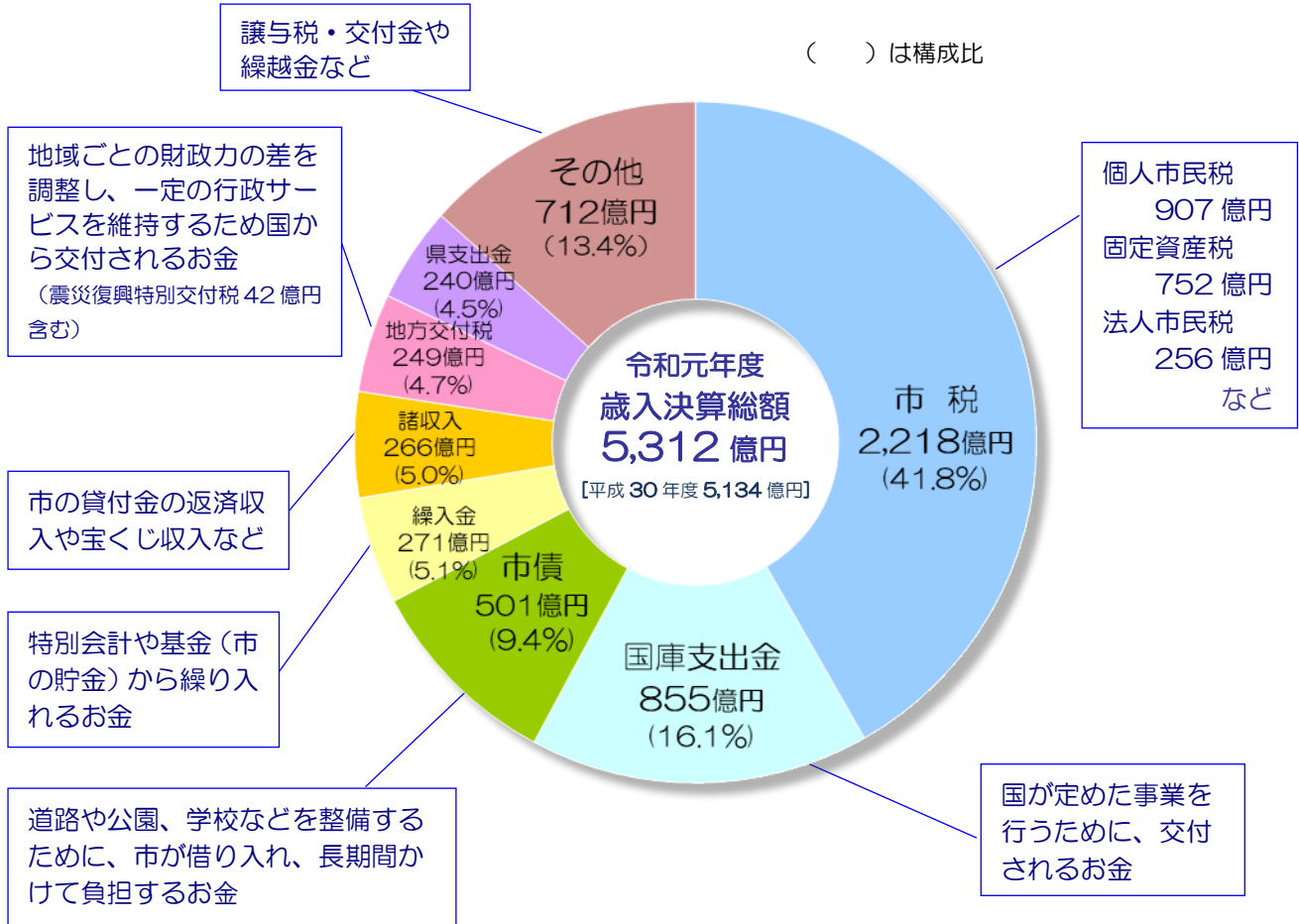
→「みんなの財政のミカタ」では、次のページから主に「一般会計」について説明をしています。特別会計・企業会計の決算については、「Part.2 資料編」をご覧ください。

2. 歳入

仙台市の1年間の収入はどうなっているの？

市の1年間の収入である歳入について説明します。

令和元年度の歳入決算額は前年度から178億円増加し、5,312億円となりました。



令和元年度決算の特徴は？

市税

個人市民税や固定資産税の増加などにより、前年度から77億円増加しています。[H30年度 2,141 億円]

国庫支出金

幼児教育・保育の無償化に伴う国庫負担金の増加などにより、前年度から59億円増加しています。[H30年度 796 億円]

繰入金

公共施設保全整備基金からの繰入の増加などにより、前年度から43億円増加しています。[H30年度 228 億円]

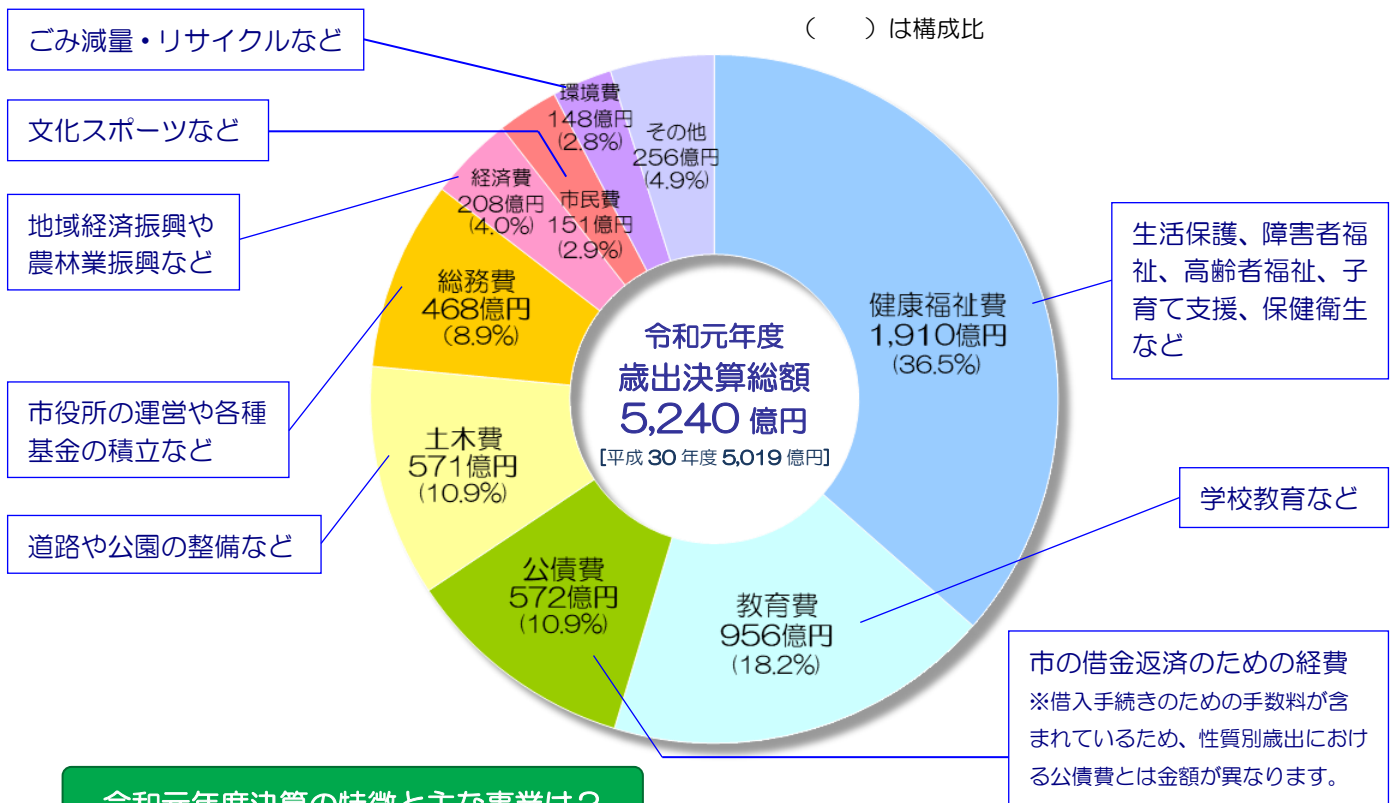
3. 歳出

支出の「2つの見方」ってどういうこと？

令和元年度の歳出決算額は前年度から 221 億円増加し、5,240 億円となりました。

歳出は、福祉、教育など行政サービスの目的で分類した「目的別歳出」と、人件費、扶助費など、経費の性質で分類した「性質別歳出」の、「2つの見方」をすることができます。

目的別歳出



令和元年度決算の特徴と主な事業は？

総務費

市庁舎整備基金への積み立てなどにより、前年度から 152 億円増加しています。[H30 年度 316 億円]

- ◆ 市庁舎整備基金積立 125 億円
- ◆ 震災復興基金積立 29 億円

教育費

市立小・中学校へのエアコン設置に要する経費の増加などにより、前年度から 87 億円増加しています。[H30 年度 869 億円]

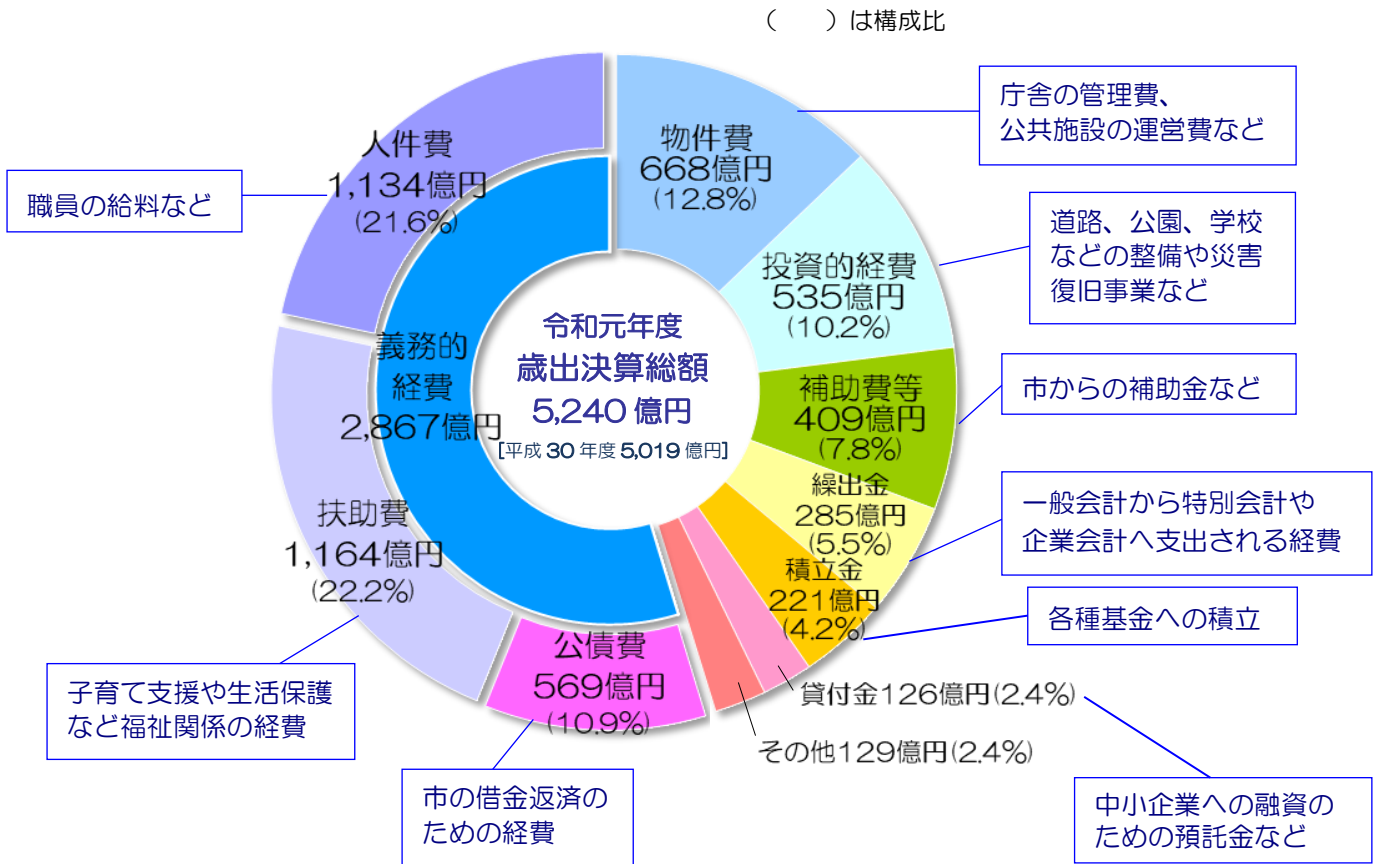
- ◆ 学校維持修繕 100 億円
- ◆ 学校建設 40 億円

土木費

東部復興道路整備に要する経費の減少などにより、前年度から 83 億円減少しています。[H30 年度 654 億円]

- ◆ 道路新設改良 114 億円
- ◆ 道路維持 75 億円
- ◆ 都市計画道路整備 33 億円

性質別歳出

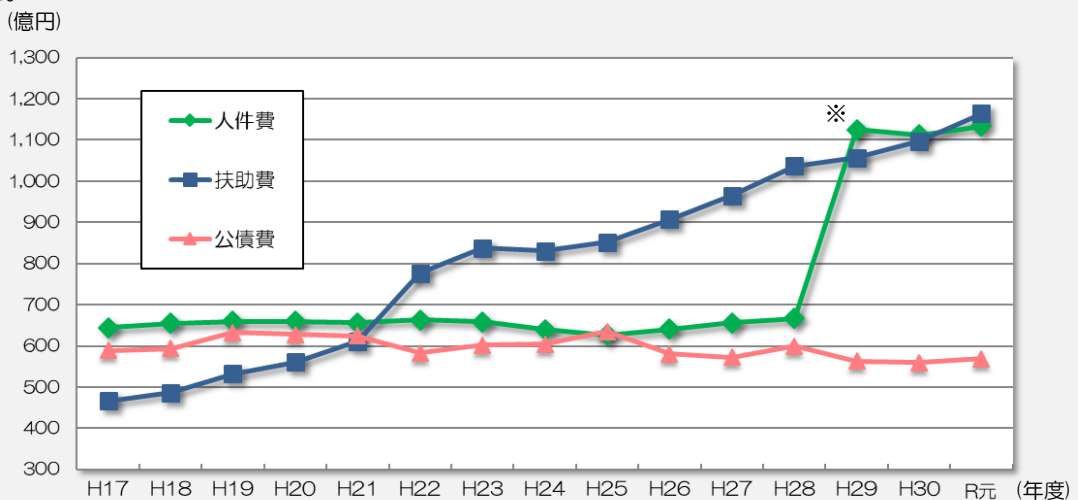


グラフの左側部分にあたる人件費・扶助費・公債費を「義務的経費」といいます。

これらは任意に削減することができない経費であり、この割合が大きくなると、新しい事業に使える経費が少なくなります。

義務的経費の推移は？

令和元年度決算における義務的経費の総額は、2,867 億円で、前年度から 99 億円増加しました。



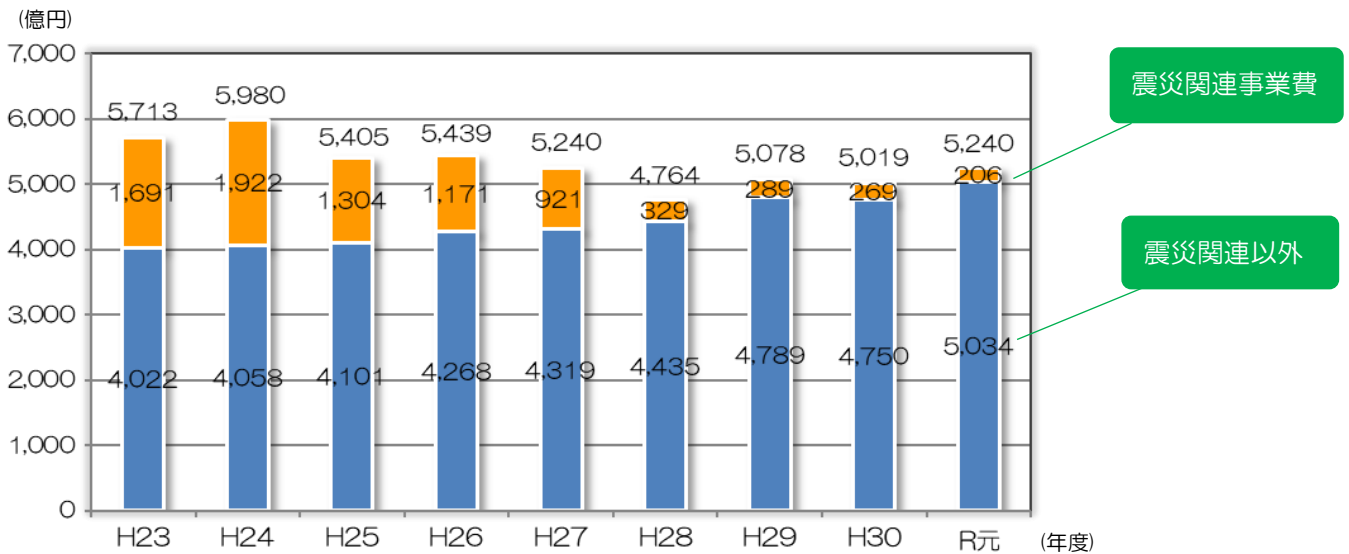
※地域の実情に応じた学校教育を実現するため、市立小・中学校の教職員に関する給与、学級編成基準の決定等の権限や財源を、平成 29 年 4 月 1 日に宮城県から仙台市に移譲したことに伴い、人件費が平成 29 年度から大幅に増加しています。

4. 震災復興への取り組み

震災復興にはどれくらいのお金が使われているの？

続いて、平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災からの復旧・復興に使われた事業費の推移を見ていきましょう。

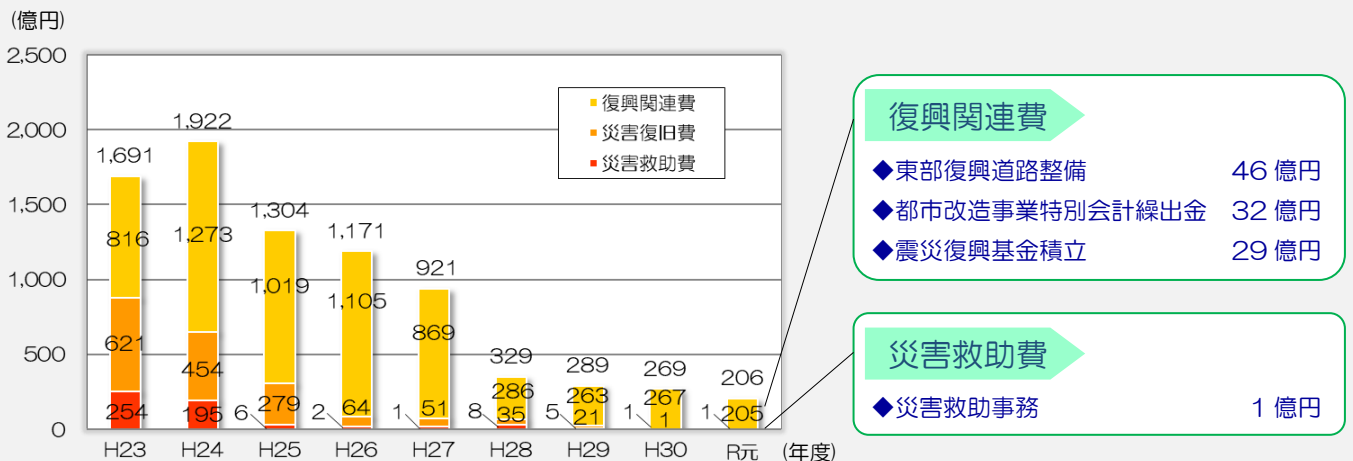
一般会計歳出に占める震災関連事業費



令和元年度決算における震災関連の事業費は、206 億円となり、前年度から 63 億円減少しました。この理由として、復旧事業の進捗に合わせて、東部復興道路整備に要する経費が減少したことなどが挙げられます。

震災関連事業費の内訳は？

震災関連事業費の内訳を見てみると、災害復旧費の計上が終了したことに加え、東部復興道路整備や集団移転跡地利活用、蒲生北部土地区画整理事業などの復興関連費が事業の進捗に伴い徐々に減少してきていることがわかります。



5. 仙台市の財政状況

仙台市の財政状況ってどうなの？

ここまでは、一般会計の決算額について見てきました。

しかし、これだけでは仙台市の財政が健全かどうかを判断することができません。

ここからは、財政状況を判断する手がかりとなる、財政指標や市債残高を見ていきましょう。

健全化判断比率

「健全化判断比率」は、**地方自治体の財政運営がどのような状況にあるのかを把握し、早い段階で健全化へ向けた取組みが必要かを判断するための指標**です。

いずれかの指標で一定の基準を超えた場合、財政健全化のために計画をつくることなどが義務付けられます。

指標	解説	令和元年度 決算	早期健全化 基準 ※2	財政再生 基準 ※3
実質赤字比率	$\frac{\text{一般会計等※1の赤字}}{\text{財政規模}}$	— (—)	11.25%	20%
連結実質赤字比率	$\frac{\text{すべての会計の赤字}}{\text{財政規模}}$	— (—)	16.25%	30%
実質公債費比率	$\frac{\text{1年間の借金返済費用}}{\text{財政規模}}$	6.1% (7.2%)	25%	35%
将来負担比率	$\frac{\text{将来負担する可能性のある負債}}{\text{財政規模}}$	78.8% (85.5%)	400%	

表中の「-」は、赤字が生じていないことを示す。()は平成30年度決算の値。

※1 一般会計等とは、一般会計と一部の特別会計(都市改造事業・公共用地先行取得事業・公債管理・母子父子寡婦福祉資金貸付事業・新墓園事業)を合わせたもの。

※2 いずれかの指標でこの基準を超えた場合、自主的な改善努力を図るため、財政健全化計画を策定する。

※3 いずれかの指標でこの基準を超えた場合、国の関与による確実な再生を図るため、財政再生計画を策定する。



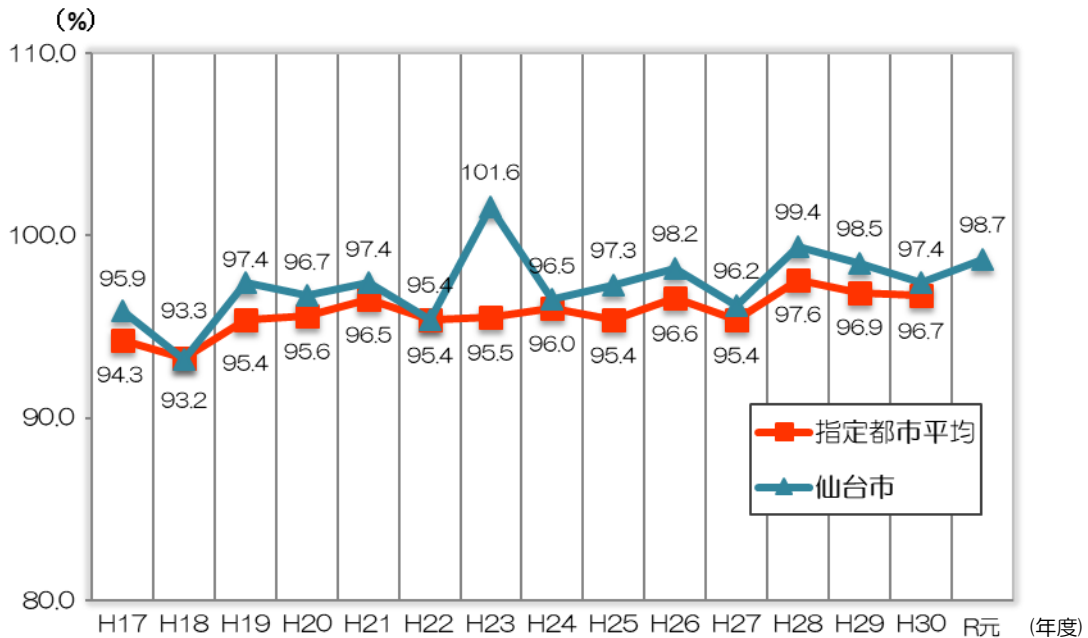
令和元年度決算に基づく仙台市の健全化判断比率は、いずれも早期健全化基準を下回っており、昨年度との比較において大きく悪化したものもなく、これらの指標上はおおむね適正な水準にあると言えます。

経常収支比率の推移（普通会計※決算ベース）

「経常収支比率」とは、**財政構造の弾力性を表す指標**です。

市税など毎年の経常的な収入である一般財源が、扶助費など毎年固定的に支出されなければならない経常的経費に、どの程度充当されているかで算出されています。

この比率が高いほど、政策的な経費に回す財源が少ないことを表します。



令和元年度決算に基づく仙台市の経常収支比率は、98.7パーセントとなっています。扶助費の増加などにより、近年高い水準で推移しており、財政構造が硬直化している状況にあることを示しています。

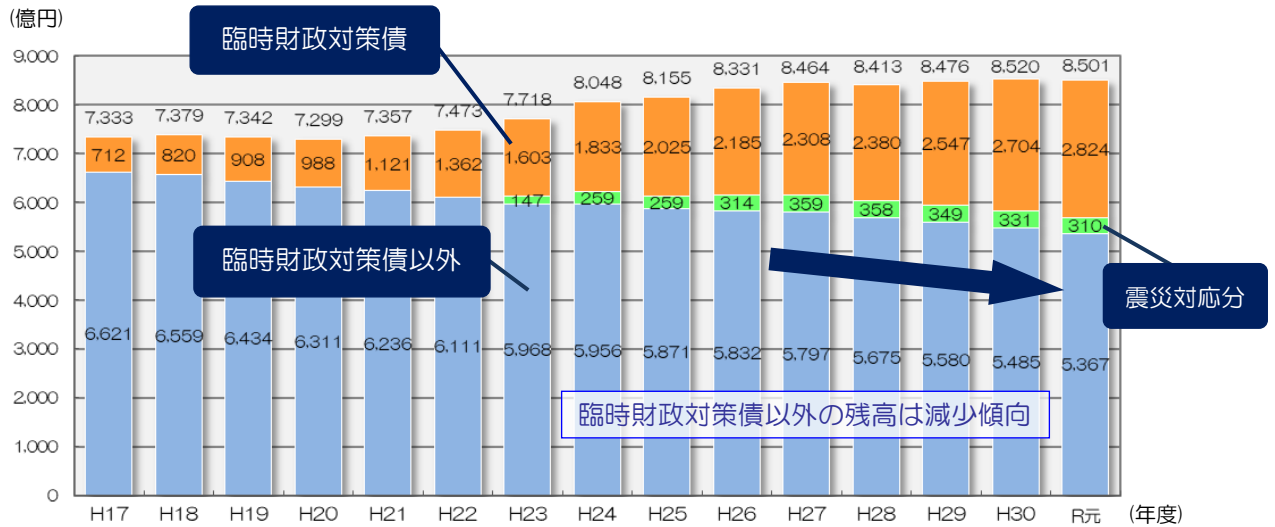
※普通会計ってなに？

仙台市には一般会計・特別会計・企業会計の3種類の会計があります。しかし仙台市の一般会計の内容が、他都市と同じとは限らずそのままでは比較ができません。そこで、国で「普通会計」という統一の考え方を定めており、地方公共団体は「普通会計」に沿って算出した値によって互いの財政状況を比較します。

仙台市の「普通会計」には、一般会計（一部を除く）・特別会計の一部（都市改造事業特別会計の一部、公共用地先行取得事業特別会計の一部、母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計及び新墓園事業特別会計）が含まれます。

市債

「市債」とは、市の借金のことです。ここでは市債残高の推移に着目してみましょう。



令和元年度決算における一般会計の市債残高は 8,501 億円となり、前年度の決算時点から 19 億円減少しました。

「臨時財政対策債」※ の残高が増加した一方で、それ以外の市債残高については、行財政改革の効果などにより着実に減少しています。

※「臨時財政対策債」ってなに？

「臨時財政対策債」とは、地方交付税の原資となる国税収入が不足していることから、その不足を埋める対策の一つとして、国から本来交付されるべき地方交付税の代わりに、地方が発行する特別な市債です。仙台市では、近年、本来交付されるべき地方交付税の半分以上が臨時財政対策債に振り替えられています。この市債の返済に必要な額は、全額が後年度に地方交付税として手当てされます。

そもそもどうして市債を発行するの？

市債は主に、道路や学校など、将来にわたって長く利用される施設の建設費、整備費用に充てられています。市債を発行して返済を後の年度にも分けて行うことで、施設を利用する将来の世代の方にも、建設費用を公平に負担していただくことができます。

6. 財政見通しと行財政改革

これからの仙台市財政はどのようなの？

仙台市の財政状況について、これからの見通しを説明します。

今後の財政見通し

本市の予算規模は、震災からの復旧復興のため一時的に増加したものが事業の進捗に伴い通減する一方で、平成 29 年度から県費負担教職員給与が移譲されたことにより大きく増加し、今後も震災前の水準を上回る規模で推移する見通しです。

歳入面では、新型コロナウイルス感染症の影響により市税収入が減少し、連動する形で普通交付税が増加するものの、主要一般財源は大きく減少することが見込まれます。歳出面では、高まる保育需要や高齢化の更なる進展等による社会保障関係費や、インフラを含む公共施設の長寿命化対策及び更新にかかる経費が確実に増加するとともに、感染拡大防止等に係る経費が必要となることが想定され、今後さらに厳しい財政状況となるが見込まれます。

財政構造の硬直化が進行しているという現状も踏まえ、長期的な視点をより一層重視し、地域経済の回復や活性化策による税源涵養、市税・保険料等に係る債権管理の適正化と更なる収入率の向上を図っていくほか、公共施設の老朽化への対応のための長期的な財源確保や事業費の更なる平準化、コスト縮減に努める等、**歳入歳出両面におけるあらゆる取組みを講じ、財政運営の健全性確保に努めてまいります。**

※参考：今後の収支差見通し（仙台市の財政見通しと対応の方向性(令和 2 年 9 月)より)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
歳入	6,766億円	5,345億円	5,389億円	5,483億円
歳出	6,821億円	5,713億円	5,772億円	5,894億円
収支差	△ 55億円	△ 368億円	△ 383億円	△ 411億円

行財政改革の取組み

多様化する市の課題に対応し、将来にわたり市民の皆様に行行政サービスを提供していくためには、しっかりとした行財政運営基盤が必要です。そのため、仙台市では、平成 7 年以降、継続的に行財政改革計画を策定し、効率的な行財政運営に取り組んでいます。平成 31 年 4 月には、今後の市役所経営の方針を明確化するとともに、本市の様々な施策の推進を支えるものとして、「仙台市役所経営プラン」を策定しました。

「仙台市役所経営プラン」（令和 4 年度当初まで）における取組みの一部を紹介します。

- ・ 公共施設マネジメントプランの推進
- ・ 市税や保険料、使用料などの収入率・収納率の向上
- ・ 民間活力の導入などによる行財政運営の効率化
- ・ ICT の積極的な利活用
- ・ 公営企業の経営改革

計画に基づく平成 28 年度当初から 6 年間の取組みの効果として、約 280 億円を見込んでいます。

コラム：令和元年度決算を家計に例えると？

仙台市と家庭では、金額やお金の使い道に大きな違いがあるため、単純に比較はできませんが、令和元年度の一般会計の決算を年収400万円（1か月あたり33万3千円）とした場合の家計に例えてみました。

仙台市の1カ月の家計簿

収入

・給料	24万6千円
基本給(市税)	13万9千円
諸手当(地方交付税、国県支出金など)	10万7千円
・パート収入	
(使用料・手数料、財産収入など)	3万9千円
・金融機関からの借金(市債)	3万1千円
・貯金の取り崩し(繰入金)	1万7千円

合 計 33万3千円



支出

・食費(人件費)	7万2千円
・医療費(扶助費)	7万4千円
・住宅ローンの返済(公債費)	3万6千円
・光熱水費、日用品費	
(物件費など)	4万2千円
・家電の買替え、家の修繕	
(投資的経費・維持補修費)	4万1千円
・子どもへの仕送り	
(繰入金・貸付金など)	5万4千円
・将来に備えた貯蓄(積立金)	1万4千円

合 計 33万3千円

収入

給料でのやりくりに努めていますが、それだけでは全ての支出を賄うことができない状況です。不足額を補うために、貯金を取り崩したり、借金をしたりしています。

支出

医療費が全体の22.2%を占めており、最も高い割合となっています。食費、医療費、住宅ローンの返済は義務的な支出であり、これらの合計が全体の54.7%を占めています。

Part2.資料編では、地方自治法第243条の3及び地方公営企業法第40条の2の規定のほか、各法に関連する市の条例の規定に基づき、財政状況等を公表します。

仙台市の財政状況についてさらに詳しく知りたい方は、仙台市のホームページをご覧ください。

<https://www.city.sendai.jp/shikin/shise/zaise/zaimu/zaise/sendaiishi/index.html>

1. 令和元年度特別会計・企業会計決算の状況

(1) 収支の状況

① 特別会計

(単位：千円)

	歳入決算	歳出決算	歳入歳出 差引	翌年度 繰越財源	実質収支
都市改造事業	7,018,474	4,972,643	2,045,831	2,045,831	0
国民健康保険事業	90,063,118	89,768,535	294,583	0	294,583
中央卸売市場事業	2,807,767	2,807,643	124	124	0
公共用地先行取得事業	1,179,292	1,179,292	0	0	0
駐車場事業	226,831	226,831	0	0	0
公債管理	126,620,452	126,620,452	0	0	0
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	148,539	57,914	90,625	0	90,625
新墓園事業	1,060,404	972,173	88,231	2,290	85,941
介護保険事業	77,347,784	75,497,534	1,850,250	0	1,850,250
後期高齢者医療事業	11,791,550	11,723,659	67,891	0	67,891
合 計	318,264,211	313,826,676	4,437,535	2,048,245	2,389,290

② 企業会計

(単位：千円、消費税込み)

	収益的収支			資本的収支		
	収入	支出	差引	収入	支出	差引
下水道事業	36,690,808	33,150,340	3,540,468	20,783,795	34,470,850	△ 13,687,055
自動車運送事業	10,026,686	10,465,823	△ 439,137	1,194,519	1,660,675	△ 466,156
高速鉄道事業	24,010,787	28,346,055	△ 4,335,268	2,504,122	9,590,381	△ 7,086,259
水道事業	29,995,339	26,440,346	3,554,993	5,065,785	16,215,853	△ 11,150,068
ガス事業	38,308,507	34,267,849	4,040,658	1,069,279	7,432,094	△ 6,362,815
病院事業	17,272,723	18,599,031	△ 1,326,308	1,027,694	1,614,286	△ 586,592
合 計	156,304,850	151,269,444	5,035,406	31,645,194	70,984,139	△ 39,338,945

※ 収益的収支とは、公営企業の経営活動により発生した収益と費用のことです。資本的収支とは、公営企業の将来の経営活動に備えて行う建設改良費等とその財源となる収入のことです。

※ 表示単位未満を四捨五入しているため、差引や合計が一致しない場合があります。上の決算で支出が収入を上回っている部分は、企業が活動していく上で蓄えられた内部留保資金などで対応しています。

(2) 令和元年度に行った主な事業

① 特別会計

■ 都市改造事業特別会計

(仙台市が施行する土地区画整理事業の会計)

- ・ 蒲生北部地区における防災集団移転促進事業移転跡地等の整理・集約といった、都市基盤の再整備（建物等移転補償、道路・下水道等整備工事、宅地造成工事）を行いました。

■ 国民健康保険事業特別会計

(自営業者の方などが加入している国民健康保険の会計)

- ・ 平成30年4月から、国民健康保険の安定化を図るため、都道府県が財政運営の責任主体となり、市町村とともに国民健康保険事業を運営しています。
- ・ 被保険者の医療費等に615億円を支出しており、財源については県からの交付金等により賄われています。
- ・ 医療費水準や所得額等に応じて負担する国民健康保険事業費納付金に253億円を支出しました。

■ 中央卸売市場事業特別会計

(水産物、青果物、花き及び食肉を取り扱う市場の会計)

- ・ 本場では、水産棟・青果棟床改修や、花き市場の高圧受変電設備の改修等を行いました。
- ・ 食肉市場では、経年劣化した汚水処理施設の改築や市場棟屋上防水改修等を行いました。

■ 公共用地先行取得事業特別会計

(事業を計画的に行うために、計画決定された道路用地などをあらかじめ取得するための会計)

- ・ 一般会計での先行取得用地の引取は、562.3㎡でした。

■ 駐車場事業特別会計

(仙台市が設置する二日町、勾当台公園地下及び泉中央駅前の駐車場の会計)

- ・ 延べ利用台数は、3駐車場合計で597,838台でした。
- ・ 前年度の利用台数と比較すると、二日町駐車場で2.2%減少、勾当台公園地下駐車場で1.9%減少、泉中央駅前駐車場で2.9%減少し、全体では2.5%減少しています。

■ 公債管理特別会計

(仙台市の借入金である市債の元金や利子などの支払を行うための会計)

- 一般会計と特別会計の公債費を一括して経理するために設置しています。
- 元金金の支払が993億円、新規記録・引受手数料などの諸費用が2億円、市債管理基金への積立が271億円でした。

■ 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計

(母子・父子世帯や寡婦の方に対する福祉資金貸付の会計)

- 貸付実績は、母子福祉資金96件4,652万円、父子福祉資金2件72万円、寡婦福祉資金2件80万円でした。
- 令和元年度末の貸付残高は、母子福祉資金5億6,181万円、父子福祉資金462万円、寡婦福祉資金1,174万円でした。

■ 新墓園事業特別会計

(長期的、安定的に市民の墓地を確保するため、新たな墓園を整備し、運営管理を行うための会計)

- 仙台市いずみ墓園において、個別集合墓所の区画割工事等を行いました。
- 新規貸出募集は、春と秋に2回実施し、貸出数は、一般墓所127基、芝生墓所163基、個別集合墓所337基で、合計627基でした。

■ 介護保険事業特別会計

(65歳以上の方と、40歳以上65歳未満で特定の病気により介護が必要と認められた方を対象に介護サービスを行う介護保険制度の会計)

- 介護を必要とする方が、居宅や特別養護老人ホームなどの施設で受けた各種の介護サービスに要した保険給付額は、672億円でした。
- 介護予防や地域包括支援センター運営などの地域支援事業費は44億円でした。
- 要介護等の認定を受けている方は、4万6,677人となりました。

■ 後期高齢者医療事業特別会計

(75歳以上の方と、65歳以上75歳未満で一定の障害のある方を対象に医療の実施などを行う宮城県後期高齢者医療広域連合への保険料などを管理する会計)

- 市内の被保険者に保険料として97億円をご負担いただき、宮城県後期高齢者医療広域連合へ納付金として支出しました。
- 所得の少ない方の保険料負担を軽減するために16億円を支出しました。

② 企業会計

下水道事業会計（下水道事業の会計）

- ・ 災害復旧事業としては、南蒲生浄化センターの災害復旧事業が令和元年6月の場内整備工事の完了をもって全て完了しました。
- ・ 地震対策事業としては、第3南蒲生幹線工事や梅田川幹線等の合流管耐震化工事（更生工法）等を実施しました。
- ・ 浸水対策事業としては、原町東部雨水幹線工事等の雨水排水施設整備を実施するとともに、仙台駅西口地区浸水被害軽減対策のための実施設計に着手しました。

令和元年度普及状況

- | | |
|--------------|------------|
| ・ 行政区域内人口（A） | 106万1,177人 |
| ・ 処理区域内人口（B） | 105万8,061人 |
| ・ 水洗化人口 | 105万5,071人 |
| ・ 人口普及率（B/A） | 99.7% |
| ・ 処理区域面積 | 1万7,537ha |

自動車運送事業会計（バス事業の会計）

- ・ サービス向上に向けて、運賃等検索システム「せんだい市バス・地下鉄ナビ」の検索機能向上のための改修を行いました。
- ・ バス待ち環境向上のため、バス停留所上屋や電照式停留所の設置を継続して行いました。
- ・ 安全運転の強化等に向けて、乗務員研修において事故原因を認識させる内容を取り入れたほか、路上運転研修の対象を拡大するとともに、経験年数の短い乗務員を対象とした添乗指導を引き続き行いました。
- ・ バリアフリー化の推進や環境対策として、低公害ノンステップバスの導入を継続して行いました。
- ・ 利用促進にむけて、市内の中学校に在籍する3年生に、一日乗り放題となる無料乗車券「中学3年生卒業おめでとうきっぷ」の配布などを行いました。

令和元年度運行状況

- | | |
|----------|----------------|
| ・ 営業路線延長 | 568.4km |
| ・ 乗車人員 | 延べ3,757万1,140人 |

※乗車人員は、前年度に比べ2.5%の減となりました。



高速鉄道事業会計（地下鉄事業の会計）

- 安全性向上のため、南北線において経年劣化した高圧受電設備の更新等を実施しました。
- バリアフリー化の一環として、駅出入口の階段の段差明瞭化や駅構内における触知案内設備及び非常用警報装置等の誘導・案内設備を整備しました。また、駅トイレについて、入口の段差解消やオストメイト用設備を備えた車椅子対応トイレの増設を含めた全面改修を計画的に実施しました。
- 利便性向上のため、勾当台公園駅北2出入口におけるエスカレーター設備の増設等を行いました。
- 利用促進に向けて、市内の中学校に在籍する3年生に、一日乗り放題となる無料乗車券「中学3年生卒業おめでとうきっぷ」を配布したほか、羽生結弦選手ポストカード付き一日乗車券の販売などを行いました。
- 効率的な事業運営のため、新たに台原駅を加えた20駅において駅業務の委託を行いました。

令和元年度運行状況（南北線・東西線）

- 営業路線延長 28.7km
- 乗車人員 延べ9,168万2,525人

※乗車人員は、前年度に比べ0.9%の増となりました。



水道事業会計（上水道事業の会計）

- 災害時でも安定した給水が行えるよう、管路や施設の更新・耐震化や、単独配水区域の解消を進めました。
- 災害対応力の強化のため、災害時給水栓の設置や、他の水道事業体との合同訓練を行いました。
- 水道事業に対するお客様の理解を深めるために、民間事業者等との連携事業を推進しました。
- 将来的な施設の管理にかかるコストを縮減するため、資産の状態を調査し、適切な維持管理・更新を進めました。
- 今後10年間に取り組むべき施策の基本的方向性を定めた「仙台市水道事業基本計画（令和2年度～11年度）」を策定しました。

令和元年度配水状況

- 給水人口 106万1,155人
- 人口普及率 99.7%
- 配水量 1億1,979万³m³

※配水量は、前年度に比べ0.4%の減となりました。



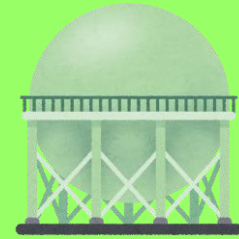
ガス事業会計（都市ガス事業の会計）

- 住宅メーカーや不動産会社への提案営業並びに住宅展示場を活用したガスの利便性PR等により、機器買換えの提案や、新築時やリフォーム時の都市ガス採用の拡大に努めました。
- さらなる安定供給の確保を図るため、経年管の入替えを着実に推進したほか、24時間集中監視を行う供給監視システムの更新を進めました。

令和元年度供給状況

- 需要家戸数 34万5,353戸
- 供給区域内の普及率 61.2%
- ガス販売量 3億937万³m³

※販売量は、前年度に比べ2.1%の減となりました。



病院事業会計（市立病院事業の会計）

- 仙台医療圏の中核病院として複雑多様化する医療ニーズに的確に対応するとともに、高度な医療技術と診療機能を発揮して、市民の「健康の増進」と「福祉の向上」に努めました。また、仙台市内唯一の第2種感染症指定医療機関として、新型コロナウイルス感染症患者の受け入れを可能な限り行いました。
- 救命救急医療、小児救急医療、身体合併症精神科救急医療、周産期医療をはじめとする、自治体病院の使命である政策的医療の提供に注力しました。

令和元年度患者数

- 外来 延べ21万9,254人
- 入院 延べ15万3,031人

※患者数は、前年度と比べると、外来は3.3%の減、入院は1.7%の増となりました。

2. 令和2年度上半期の財政状況（令和2年9月30日現在）

ここからは、令和2年度予算の執行状況や財産の状況などについてお知らせします。

（1）予算の執行状況

① 一般会計

令和2年度の予算現額(令和2年度当初予算に令和元年度繰越額及び令和2年第2回臨時会までの補正を反映させた予算額)は約7,110億円です。予算の執行率は歳入が44.4%、歳出が42.8%です。

歳入予算の項目執行状況

(単位：千円)

	予算現額	収入済額	収入済率
市 税	217,874,000	113,813,745	52.2%
国庫支出金	216,592,707	141,508,778	65.3%
市 債	67,671,600	0	0.0%
諸 収 入	49,600,910	3,702,230	7.5%
繰 入 金	40,490,809	0	0.0%
県 支 出 金	30,339,557	5,197,357	17.1%
そ の 他	88,441,096	51,441,534	58.2%
合 計	711,010,679	315,663,644	44.4%

※ 収入済率は、千円単位で計算した場合の割合としています。

歳出予算の項目執行状況

(単位：千円)

	予算現額	支出済額	支出済率
健康福祉費	211,576,299	76,995,256	36.4%
市 民 費	127,169,592	114,620,253	90.1%
教 育 費	110,053,485	40,688,513	37.0%
土 木 費	69,036,932	17,172,573	24.9%
公 債 費	57,267,343	0	0.0%
経 済 費	52,421,087	28,439,760	54.3%
そ の 他	83,485,941	26,452,166	31.7%
合 計	711,010,679	304,368,521	42.8%

※ 支出済率は、千円単位で計算した場合の割合としています。

※ 公債費の支出済率が0%となっているのは、市債の元利償還や利子の支払いを一括管理している公債管理特別会計への精算処理を出納整理期間中に行うためです。

② 特別会計

令和2年度上半期予算執行状況

(単位：千円)

会計名	予算現額	収入済額	収入済率	支出済額	支出済率
都市改造事業	5,540,901	2,049,193	37.0%	402,923	7.3%
国民健康保険事業	90,192,449	32,012,665	35.5%	35,218,141	39.0%
中央卸売市場事業	4,224,423	681,020	16.1%	1,017,011	24.1%
公共用地先行取得事業	1,430,374	486,577	34.0%	637,051	44.5%
駐車場事業	252,815	46,773	18.5%	34,385	13.6%
公債管理	115,746,496	22,000,000	19.0%	34,863,711	30.1%
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	97,936	136,706	139.6%	14,164	14.5%
新墓園事業	877,734	212,072	24.2%	63,987	7.3%
介護保険事業	78,264,549	32,279,964	41.2%	31,836,013	40.7%
後期高齢者医療事業	12,120,324	4,282,701	35.3%	4,367,075	36.0%
合計	308,748,001	94,187,671	30.5%	108,454,461	35.1%

※ 収入済率及び支出済率は、千円単位で計算した場合の割合としています。

③ 企業会計

令和2年度上半期予算執行状況

(単位：千円)

会計名		収益的収支			資本的収支		
		予算現額	執行済額	執行率	予算現額	執行済額	執行率
下水道事業	収入	37,770,504	8,953,681	23.7%	29,212,892	7,271,205	24.9%
	支出	35,300,212	4,626,234	13.1%	43,183,241	12,846,628	29.7%
自動車運送事業	収入	10,430,888	4,578,394	43.9%	1,227,260	182,000	14.8%
	支出	11,389,658	4,045,954	35.5%	1,698,501	436,087	25.7%
高速鉄道事業	収入	24,668,146	7,164,511	29.0%	2,722,300	404,806	14.9%
	支出	27,148,398	4,019,140	14.8%	10,113,020	3,837,052	37.9%
水道事業	収入	30,434,587	10,885,096	35.8%	7,371,592	721,445	9.8%
	支出	28,122,676	5,537,219	19.7%	21,852,501	6,056,944	27.7%
ガス事業	収入	40,772,084	16,086,355	39.5%	4,457,616	35,694	0.8%
	支出	37,022,842	12,108,978	32.7%	8,915,878	3,127,853	35.1%
病院事業	収入	17,818,016	7,502,211	42.1%	1,188,843	468,562	39.4%
	支出	19,286,829	6,494,373	33.7%	1,500,761	662,745	44.2%
合計	収入	161,894,225	55,170,248	34.1%	46,180,503	9,083,712	19.7%
	支出	158,270,615	36,831,898	23.3%	87,263,902	26,967,309	30.9%

※ 執行率は、千円単位で計算した場合の割合としています。

※ 消費税込みの金額となっています。

(2) 市債、市有財産、基金などの状況

① 市債の状況

会計別市債現在高

(単位：千円)

	現在高	借入先				
		財務省	独立行政法人 郵便貯金簡易生命 保険管理・郵便局 ネットワーク支援 機構	地方公共団体 金融機構	市場公募債	市中銀行等
一般会計	841,213,053	172,079,364	5,084,492	66,571,439	461,196,650	136,281,108
特別会計	32,962,341	1,916,083	36,098	6,083,319	17,303,350	7,623,491
都市改造事業	16,780,300	246,745	36,098	528,487	13,755,450	2,213,520
中央卸売市場事業	10,542,990	1,669,338	0	5,554,832	44,000	3,274,820
公共用地先行取得事業	0	0	0	0	0	0
駐車場事業	0	0	0	0	0	0
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	593,831	0	0	0	0	593,831
新墓園事業	5,045,220	0	0	0	3,503,900	1,541,320
企業会計	424,314,494	112,602,564	31,617,136	183,364,682	0	96,730,112
下水道事業	185,620,778	30,808,952	31,085,524	68,454,162	0	55,272,140
自動車運送事業	2,586,065	134,067	0	208,623	0	2,243,375
高速鉄道事業	122,240,705	15,306,029	531,612	75,342,886	0	31,060,178
水道事業	60,128,831	33,106,081	0	22,984,074	0	4,038,676
ガス事業	32,091,847	18,378,211	0	13,256,207	0	457,429
病院事業	21,646,268	14,869,224	0	3,118,730	0	3,658,314
合計	1,298,489,888	286,598,011	36,737,726	256,019,440	478,500,000	240,634,711

一般会計のうち目的別内訳

(単位：千円)

区分	現在高	区分	現在高
総務債	6,365,679	高速鉄道事業債	103,486,851
市民債	34,045,943	水道事業債	2,790,762
健康福祉債	38,606,110	災害復旧債	3,797,574
環境債	8,654,403	減税補てん債	26,076,400
経済債	3,850,310	臨時税収補てん債	263,000
土木債	238,289,459	臨時財政対策債	283,831,237
消防債	15,469,733	減収補てん債	4,241,980
教育債	71,443,612	合計	841,213,053

② 市有財産、基金の状況

一般会計と特別会計の財産

	単位	行政財産 ^{※1}		普通財産 ^{※4}	合 計
		公用財産 ^{※2}	公共用財産 ^{※3}		
土地	m ²	2,013,179	33,713,899	14,852,054	50,579,132
建物	m ²	363,685	3,129,541	75,483	3,568,709
山林（市有林）	m ²	3,326,535		17,892,760	21,219,295
立木	m ³	59,685		393,294	452,979
物権	m ²	35,984		8,060	44,044
動産	機	2		0	2
無体財産権	件	25		0	25
有価証券	千円			144,879	144,879
出資による権利	千円			8,347,312	8,347,312
物品	千円			21,563,061	21,563,061
債権	千円			17,573,078	17,573,078
基金 ^{※5}	千円			271,652,237	271,652,237

注) 土地のうち、行政財産の3,326,535m²と普通財産の12,886,459m²は山林（市有林）と重複しています。
また、立木は推定蓄積量です。

※1 行政財産 市が所有している財産で、行政目的に利用されているものや、利用されることが決定されたもので、公用財産と公共用財産に分けられます。

※2 公用財産 庁舎など、市が事務を行うために直接使用することを本来の目的とする財産です。

※3 公共用財産 公園、学校など、市民の皆さんが利用することを本来の目的とする財産です。

※4 普通財産 行政財産以外の財産です。直接特定の行政目的に使われるものではなく、一般私人と同等の立場で所有し、貸付などによる収益は市の財産収入となるものです。

※5 基金 財政の健全な運営や特定の目的のため財産を維持し、資金を積み立て、又は定額の資金を運用するために設けられる資金又は財産です。本市の場合、18の基金が設置されています。

（18の基金：財政調整基金、市債管理基金、高速鉄道建設基金、百年の杜づくり推進基金、環境保全基金、福祉基金、文化振興基金、仙台城史跡整備基金、震災復興基金、東日本大震災復興交付金基金、公共施設保全整備基金、中小企業活性化基金、市庁舎整備基金、奨学金返還支援基金、災害救助基金、土地開発基金、国民健康保険事業財政調整基金、介護保険事業財政調整基金）

企業会計の財産

(単位：千円)

	下水道事業	自動車 運送事業	高速鉄道事業	水道事業	ガス事業	病院事業	合 計
土地	20,165,342	2,718,228	14,027,394	8,630,182	8,702,850	9,170,830	63,414,826
土地面積 (㎡)	2,076,098	125,674	239,907	2,631,994	284,616	35,018	5,393,307
建物	28,288,498	1,106,170	44,036,693	16,617,088	2,787,774	14,972,927	107,809,150
建物面積 (㎡)	123,361	14,315	242,745	70,802	37,813	55,800	544,836
構築物	477,729,005	218,364	200,791,525	292,177,268	27,409,799	281,008	998,606,969
未竣工施設建設仮勘定	26,275,211	5,051	87,515	3,815,112	423,228	0	30,606,117
車両運搬具	12,397	1,631,609	6,151,720	258,230	80,876	883	8,135,715
機械及び装置	54,674,327	55,111	7,598,840	34,218,797	5,239,194	1,933,083	103,719,352
器具工具備品	51,571	656,198	139,688	1,314,983	38,394	0	2,200,834
リース資産	0	0	0	435,008	100,529	0	535,537
長期貸付金等	0	0	0	0	0	0	0
出資による権利	27,000	28,521	93,291	69,500	141,897	0	360,209
無形固定資産	3,404,169	13,891	599,831	5,844,534	783,647	36,251	10,682,323
合計 (千円)	610,627,520	6,433,143	273,526,497	363,380,702	45,708,188	26,394,982	1,326,071,032

※ 財産のうち、建物、構築物、車両運搬具、機械及び装置、器具工具備品、無形固定資産については、減価償却後の金額。

③ 一時借入金の状況

(単位：千円)

会 計 名		現 在 高
一 般 会 計		0
特 別 会 計		0
企 業 会 計		1,600,000
内 訳	下 水 道 事 業	0
	自 動 車 運 送 事 業	0
	高 速 鉄 道 事 業	1,600,000
	水 道 事 業	0
	ガ ス 事 業	0
	病 院 事 業	0
合 計		1,600,000

※ 一時借入金は、支払い資金の不足を臨時的に補うために、その年度内で償還する条件で借り入れるものです。

[寄附のお願い]

仙台ふるさと応援寄附

仙台ふるさと応援寄附



仙台市は、復興の次のステージに向けて確実に歩みを進め、希望ある未来を創るため、人々の夢や意欲を育み、躍動し続けるまちづくりに取り組んでいきます。

皆様の寄附による仙台市への応援をよろしくお願いいたします。

なお、令和2年5月より「新型コロナウイルス感染症対策」を寄附金の使いみちに追加しています。

● 寄附金の使いみち

お申し込みの際、寄附金の使いみちをお選びいただけます。

<input type="checkbox"/> 震災復興	<input type="checkbox"/> 防災・減災施策の充実	<input type="checkbox"/> ふるさとの杜再生	<input type="checkbox"/> 震災遺構・メモリアル施設運営
<input type="checkbox"/> 楽都仙台推進(音楽文化の振興)	<input type="checkbox"/> 文化芸術振興	<input type="checkbox"/> 仙台のお祭り応援	<input type="checkbox"/> 子育て支援
<input type="checkbox"/> 学校まなび応援	<input type="checkbox"/> 学び・文化財・ミュージアム事業応援	<input type="checkbox"/> 障害者施策推進	<input type="checkbox"/> 高齢者施策推進
<input type="checkbox"/> 保健福祉推進	<input type="checkbox"/> ふるさと農業振興事業	<input type="checkbox"/> 社会起業家支援	<input type="checkbox"/> 奨学金返還支援
<input type="checkbox"/> 百年の杜づくり推進基金	<input type="checkbox"/> 八木山動物公園オフィシャルサポーター	<input type="checkbox"/> 街路樹・公園遊具管理	<input type="checkbox"/> 環境保全
<input type="checkbox"/> 自転車安全利用促進	<input type="checkbox"/> 動物愛護の推進	<input type="checkbox"/> 仙台国際ハーフマラソン大会応援	<input type="checkbox"/> スポーツ振興
<input type="checkbox"/> 協働によるまちづくりの推進	<input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症対策	※ご指定がない場合は「仙台まるごと応援」に活用させていただきます。	
<input type="checkbox"/> 仙台まるごと応援			

● 寄附された方と寄附金活用状況のご紹介

公表について承諾をいただいた方のお名前や、寄附金の活用状況などを仙台市ホームページで紹介しております。

● 税制面の優遇

- 事業者の方
申告により、寄附金の全額が法人税の損金扱いとなります。
- 個人の方
寄附（ふるさと納税）について確定申告をしていただくと、住民税と所得税から寄附金の2,000円を超える部分が一定限度控除されます。
一定の給与所得者等（寄附金の控除以外に申告すべき事項が無い方）は、ワンストップ特例申請により、税の申告を行わなくても寄附金の控除を受けられる「ふるさと納税ワンストップ特例制度」をご利用いただけます。
※税の申告をする方、ふるさと納税先が5団体を超える場合はこの制度の対象とはなりません。

● 寄附のお申し込み

ホームページ「楽天ふるさと納税」からお申し込みいただけます。

申請書による場合は、ファックス、郵送、電子メール、持参のいずれかの方法により、仙台市役所財政局財政企画課までお申し込みください。

● 問合せ先

- 仙台市への寄附に関すること：財政局財政企画課 電話：022-214-8111
- 税の控除に関すること：お住まいの市区町村の税務担当課にお問い合わせください。
(仙台市にお住まいの方：財政局市民税課 電話：022-214-8637、8638)

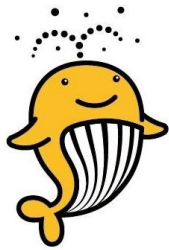
寄附の詳細につきましては、ホームページをご覧ください。

仙台ふるさと応援寄附

検索

<https://www.city.sendai.jp/zaiseikikaku-somu/shise/zaise/zaimu/zaise/sendaiishi/oenkifu/index.html>

仙台市 宝くじ情報



みなさん
宝くじは
仙台市内で
買ってね。



クーちゃん

宝くじのイメージキャラクター
「クーちゃん」

宝くじは、**仙台市内**でお買い求めください!!

仙台市内で販売された宝くじの売上の一部は、仙台市の収入となっており、道路や、児童館の整備、芸術文化振興事業などの貴重な財源として活用しています。

宝くじは夢を持つことができるとともに、市民の皆様のよりよい生活のために大変役立つものなのです。

宝くじの情報は仙台市ホームページからもご覧いただけます！

仙台市 宝くじ情報

検索

宝くじ公式サイトなら
いつでもどこでも宝くじが買える!



ジャンボ
宝くじも
買える!

宝くじ

[交通局からのお知らせ]

お出かけには市バス・地下鉄をご利用ください

仙台市内の移動には、目的地のすぐ近くまで行ける**市バス**が便利！
地下鉄は、天候や渋滞の影響が少なく、所要時間がほぼ正確なので、お出かけの計画も立てやすい！

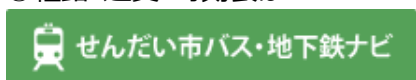
お得な運賃制度も色々ご用意していますので、お出かけには市バス・地下鉄をぜひご利用ください。



市バス

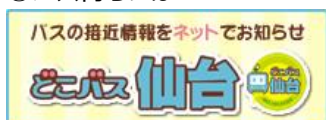
市バスと地下鉄を上手に乗りこなして 移動は「お得に、」時短で、

○経路・運賃・時刻表は



<https://www.navi.kotsu.city.sendai.jp/>

○バス待ちには

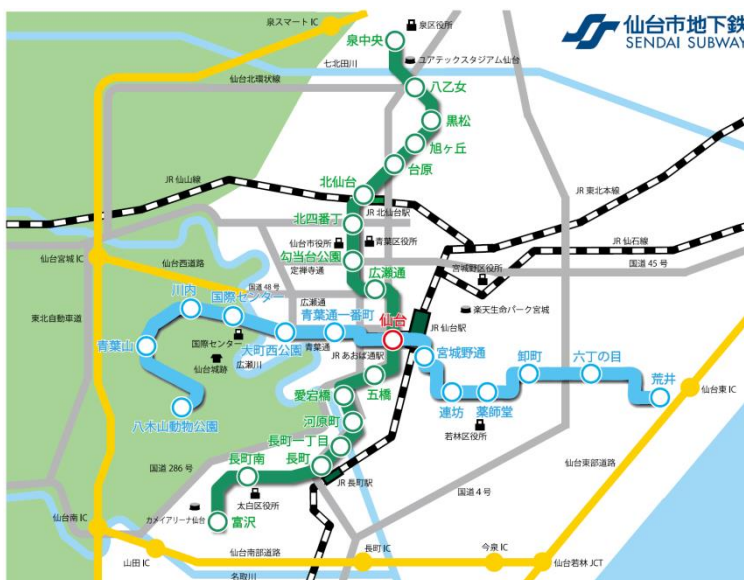


<https://www.dokobasu.kotsu.city.sendai.jp>

○仙台名所巡りには



<https://loople-sendai.jp/>



市バス・地下鉄のお得な運賃制度

○地下鉄 210 円均一

<https://www.city.sendai.jp/kokyo/kurashi/machi/kotsu/annai/210enkinritu.html>

○東西線結節駅周辺バス 100 円均一

<https://www.city.sendai.jp/kokyo/kurashi/machi/kotsu/annai/kessetu.html>

【休日のお出かけなどに便利な一日乗車券】

○市バス一日乗車券 ○地下鉄一日乗車券

○るーぷる仙台・地下鉄共通 1 日乗車券

<https://www.kotsu.city.sendai.jp/fare/waribiki.html>

【通学に加えて習い事などの利用路線も格安で購入できる通学定期券】

○学都仙台フリーパス

https://www.kotsu.city.sendai.jp/fare/freepass/hanbai_index.html

お乗りの際は

イクスカ

「icsca」をどうぞ



IC チップが埋め込まれたカード乗車券。事前に入金(チャージ)しておけば、地下鉄の改札機

またはバスの運賃箱にタッチするだけで運賃が支払えます。

乗車回数や利用金額に応じてポイントも貯まります！



お問い合わせ

交通局案内センター 022(222)2256

月～金/8:30～18:30、土・日・祝/8:30～17:00

Twitter でも情報発信中！ @sendaishi_kotu



交通局 HP

みんなの財政のミカタ

令和2年12月

編集・発行 仙台市財政局財政部財政企画課

仙台市青葉区国分町三丁目7-1

電話 022 (214) 8111

FAX 022 (262) 6709

E-MAIL zai003005@city.sendai.jp